

第210回研究科委員会・第314回教員会議 議事要録

日時：令和2年12月9日（水） 14：00～16：17

場所：後援募金記念棟 会議室1-3

議事に先立ち、学類長より新型コロナに関するアナウンスがあった。

- ・保健管理センターより、心身不調な学生がいたら相談に行くようにとの連絡があったので学生に周知いただきたい。
- ・危機対策本部会議より、福島市でクラスターが発生したため注意喚起がされた、遠隔授業の心づもりもしていただきたい。
- ・本学における感染の公表については、学生寮等影響の大きい場合に行う。

議 題

研究科委員会

[審議事項]

1. 入学試験委員会

(1) 令和3年度大学院入試（2次募集）合否判定について

回収資料にもとづき、合否判定案が提示され、承認された。

3次募集の出願が12月10日（木）17時までであること、また、1・2次募集の入学手続きを忘れないように合格者に周知いただきたい、とのアナウンスがあった。

2. 教務委員会

(1) 令和2年度3月期修了修士論文審査委員について

資料1およびプロジェクター投影された資料にもとづき、修士論文審査委員が提案され、承認された。なお、「他研究科・他大学教員」欄の教員は食農学類の教員であるとの説明があった。

(2) 令和3年度学修案内（環境放射能学専攻博士後期課程）について

資料2について特に意見等はなく、承認された。

[報告事項]

1. 教務委員会

(1) 令和2年度3月期修了博士論文予備審査結果報告について

資料3にもとづき、報告された。

[その他]

1. 第345回教育研究評議会報告 [審議事項] (1) 大学院の改革について

2. 第346回教育研究評議会報告 [審議事項] (1) 大学院の改革について

(意見聴取)

3. 第149回運営会議報告 (3) 大学院の改革について

4. 第150回運営会議報告 (2) 大学院の改革について

資料にもとづき、説明された。

研究科の構成や内容については、各研究科で検討して案を出すこととなった。教育プログラムについても、12月11日（金）9時までには回答することになっているので、ご意見があればお寄せいただきたい。組織形態についても年内には固めたいので意見をいただきたい。

教員会議

[審議事項]

1. 学類長

(1) 学類長候補適任者の選出について (投票)

プロジェクター投影された資料の説明の後、投票を行った結果、2名の教授が選出された。

(2) 教員の任用について

1) 教員選考委員会からの選考結果の報告について

物理・メカトロニクス分野の3名の教授をメンバーとする教員選考委員会が11月11日に設置され、10名の応募者の中から3名を選考したとの説明があり、承認された。

2) 教員資格調査委員会の設置について (投票)

1)の結果を受けて、教員資格調査委員会の設置が承認され、投票の結果、当該分野から2名の教授、他分野から2名の教授が選出された。もう一名については、応用理工学系の学系長から推薦のあった教授が選出された。

2. 入学試験委員会

(1) 令和3年度学校推薦型選抜合否判定について

回収資料にもとづき、合否判定案が提案され、承認された。参考として、県内外の人数や男女別の数などが示された。

(2) 今後の令和3年度学類入試における新型コロナウイルス感染症の感染状況に応じた対応について

資料4にもとづき、本学類の対応案が提案され、承認された。

3. 教務委員会

(1) 令和2年度非常勤講師計画について

資料5にもとづき、前回からの変更点について説明され、承認された。

(2) 旧カリキュラムの研究室配属の申し合わせについて

資料6にもとづき、2018年度以前入学者の研究室配属について、研究室未配属学生の数を考慮した申し合わせ案が提案され、承認された。

(3) 学類専門科目共生の科学 の開講について

資料7にもとづき、大枠について説明され承認された。就職支援委員会委員より、就職関係も組み込んでほしいとの要望が出されたが、詳細については今後、教務委員会ですめることとし、その他意見や要望があれば教務委員長まで提出することとした。

[報告事項]

1. 学類長

(1) 令和2年度昇給区分該当者について

資料がプロジェクター投影され、該当者が報告された。

(2) 教育研究設備の学内共同利用・学外一時使用に関する調査について

評議員より、保有する設備の有効活用について大学としての対応等の趣旨について説明があり、一方で研究・教育にも使用するので慎重な判断をお願いしたい、学類でリストを整理して研究振興課に提出したいので調査に協力いただきたいとの依頼がされた。

2. 教務委員会

(1) 令和2年度卒業論文の提出について

資料8にもとづき、提出期限や提出先等について報告された。

(2) 令和3年1月～4月の行事予定について

資料9にもとづき、報告された。

- (3) 卒業時アンケートの実施について
資料10にもとづき、報告された。
- (4) 第35回全学教務協議会について
(審議事項)
 - ・令和3年度授業日程(案)について
資料11にもとづき、報告された。
 - ・令和3年度非常勤講師計画の事前協議について
資料12にもとづき、非常勤講師所要額削減の観点から、非常勤講師計画作成要領に該当しない場合は全学教務協議会で随時協議を行うこととなった、と報告された。
- (報告事項)
 - ・令和2年度前期成績分布の公開について
資料13にもとづき、令和2年12月1日(火)~12月30日(水)ライブキャンパス上で公開する、との報告があった。
 - ・令和2年度後期単位互換による特別聴講学生の受入れ及び派遣について
資料14にもとづき、2020年度後期開講科目に関しては、該当者なし、との報告がされた。
 - ・令和3年度教職科目の開講計画について
資料15にもとづき、報告・確認された。
 - ・その他
 - 令和2年度後期受講者100名以上の科目一覧について
資料16にもとづき、報告された。
 - 大学入学共通テスト第2日程の実施に伴う入構制限について
資料17にもとづき、報告された。
 - 学務情報統合システムの更新について
資料18にもとづき、学務情報統合システム(ライブキャンパス)の更新に関して、教職員からのパブリックコメントを募集する、とのアナウンスがあった。
- 3. 国際交流センター運営会議
 - (1) 2020年度交換留学派遣学生について
資料19にもとづき、11月26日現在、春の派遣3名、オンライン受講2名、派遣不可9名、辞退10名(オンライン辞退含む)である、と報告された。
- 4. 奨学寄附金等の受入れについて
共同研究1件、奨学寄附金1件が報告された。

[その他]

- 1. その他
特になし

教育研究評議会

第345回(11月17日開催)報告

[審議事項]

- (1) 大学院の改革について
研究科委員会[その他]で報告

[報告事項]

- (1) 令和3年度に受審する教職大学院認証評価の申請について
資料1にもとづき、令和3年度に受審する教職大学院の認証評価の申請手続きや提出する申請書等について説明があった。

- (2) 長崎大学との連携に関する協定を変更する協定締結について
資料2にもとづき、協定書の更新について、自動更新できるように内容を一部変更する協定を締結する、との説明があった。
- (3) 国外活動時の危機管理基本方針(改訂版)について
資料3にもとづき、新型コロナウイルス感染症の影響を受けて、改定を行うこととなった、との説明があった。

第346回(12月1日開催)報告

[審議事項]

- (1) 大学院の改革について(意見聴取)
研究科委員会[その他]で報告

[報告事項]

- (1) 令和元年度に係る業務実績に関する評価結果(原案)について
資料1にもとづき、国立大学法人評価委員会より提示された業務実績評価結果について、その概要及び本学としての対応について報告があった、との説明がされた。
- (2) 令和2年度計画中間報告について
資料2にもとづき、9月末現在の進捗状況及びエビデンスの登録があったことを踏まえ、自己評価委員会で進捗状況を点検した概要について報告があった、との説明がされた。
- (3) 令和3年度科研費申請状況について
資料3にもとづき、令和3年度科研費申請状況等について報告があった、との説明がされた。

運営会議

第149回(11月24日開催)報告

- (1) 3巡目認証評価に係る実施体制について
資料1にもとづき、3巡目の認証評価の実施については、これまで以上にデータの蓄積や深い分析、対応措置が求められており、全学を挙げた体制での対策が必要であり、その実施体制等について報告があった。
- (2) 大学入学共通テスト時託児費用支援の実施について
資料3にもとづき、大学入学共通テスト時に託児やベビーシッターを利用する際の費用の一部を補助する制度について報告があった。
- (3) 大学院の改革について
研究科委員会[その他]で報告
- (4) その他
人事院勧告への対応について
令和2年人事院勧告では賞与を0.05か月分引き下げるという内容であったが、本学では今年度は引き下げを行わず、来年度に人事院勧告に準拠して引き下げる、との報告があった。
電気・ガス・水道使用量について(10月分)
資料5にもとづき、報告があった。

第150回(12月8日開催)報告

- (1) 教員人件費管理等の見直しについて
以下のような説明があった。

運営費交付金の削減に伴い3億円ほどの財源不足となっている。ポイント制度の見直しや学長裁量枠の導入、第4期中期目標期間初年度から採用凍結等を視野に今後何年かは収支均衡を目指し、それ以降は3億円程度の予算で強みを生かし、他大学との連携や国際教育研究拠点との連携も視野に入れていく。

(2) 大学院の改革について

研究科委員会〔その他〕で報告

(3) 教員免許・教職課程実施体制の検討について

今後大学院改革とのからみで検討していく。

教員会議終了後、情報セキュリティ教育(4回目)を実施した。